

ブラジルレポート

為替・株式市場

	5月09日	5月10日	3月末	18年末	17年末	16年末	15年末	14年末	13年末
為替レート(R\$/US\$)	3.96	3.95	3.89	3.87	3.30	3.25	3.96	2.65	2.34
株価【BOVESPA】 (ポイント)	94,807	94,257	95,414	87,887	76,402	60,227	43,350	50,007	51,507

2019年ブラジルGDP見通し・更なる下方修正

- ・期待外れの国内の第1四半期状況と米中貿易摩擦等の外部要因により、ブラジル市場はGDP成長率を1.1~1.3%ともう一段下方修正している(18年度並の成長率)。

金融機関の2019年度・ブラジルGDP成長率の見通し(レンジ)推移

05/2018	10/2018	12/2018	03/2019	05/2019
2.8~3.0%	2.0~2.5%	2.5~2.8%	1.9~2.4%	1.1~1.3%

- ・株式指数(Bovespa)は90,000台を維持しているが、為替はレアル安のR\$/US\$:4.00水準に定着。世界経済の不確実性が為替の動向に影響しているが、ブラジルの財政改革の柱、年金改革法案の可決タイミングと内容が今後の為替と経済の鍵を握る。(市場の大半は、年金改革法案は年内の後半に可決されると期待している)
- ・これらの国内外の不確実性が投資家を不安にし、ブラジルのリスクアセットに対し片足しか踏込んだ投資しかできない。近日、株式は上昇時でもレアル通貨が下落している状況が発生している。どうやら投資家はブラジルの株式を買うが、リスクを低減するために為替ヘッジを行っている様子。

ブラジル・鉱山事故対応の状況

Brumadinho・テーリングダム決壊(2019年1月・Vale社)

()内は前年同期

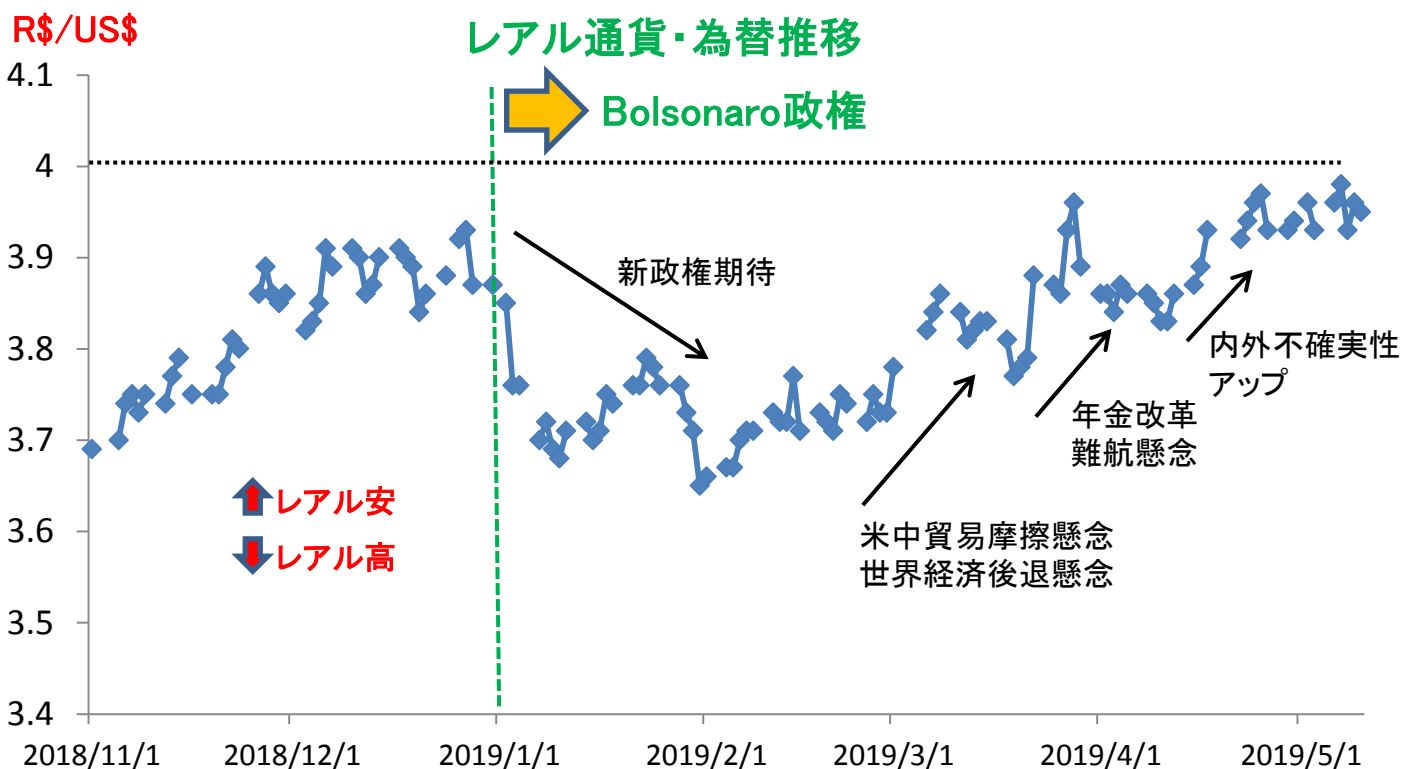
- ・Valeが第1四半期(1~3月)の決算を発表: 純利益: $\Delta 16.42$ 億ドル(+15.9億ドル)
- ・市場の見込み20億ドル強を下回るが、内容は下記の通り:

売上:	82.03	(86.03)	ダム決壊インパクト計:49.54億ドル * 内、訴訟・賠償等の引当金:24.23億ドル 生産へのインパクト:700万トン
コスト&他経費:	51.80	(56.20)	
Brumadinho対応関連経費:	45.04	(-)	
EBIT:	$\Delta 14.53$	(30.53)	

Mariana・テーリングダム決壊(2015年11月・Samarco社-BHP/ValeのJV)

- ・約65億ドルの集団訴訟が英国でBHP(英)に対して行われている(昨年11月に開始)
- ・集団の構成は個人:24万人、市:11市、企業:1.1万社、他 教会、保護地域
- ・ブラジルでも裁判は行われているが、英国の方が公平で迅速と集団は判断(BHPの対応にも影響も?)

為替・リアル通貨はR\$/US\$:4.0付近ラインで定着？



株価推移(サンパウロ取引所)

BOVESPA指数

